

# 「情報通信利用者動向の調査」 (Cyber Life Observations : CLO)

【第13回 調査結果の概要】

2003年5月1日

**野村総合研究所**  
**Nomura Research Institute**

# 目次

1.	今回の調査の視点と特徴		2
2.	アンケートの概要		2
3.	調査結果の要約		3
1)	携帯電話	(図表1、2、3)	6
2)	携帯電話単体でのインターネット利用	(図表4、5)	9
3)	カメラ付携帯電話	(図表6)	11
4)	パソコン	(図表7)	12
5)	パソコンでのインターネット利用	(図表8、9、10)	13
6)	ユビキタス比率	(図表11、12)	16
7)	オンラインショッピング	(図表13)	18

# 1. 今回の調査の視点と特徴

- (1) 過去12回(1997年3月より半年おき)の調査結果との対比
- (2) 第12回より、調査対象を60代まで拡大

# 2. アンケートの概要

	第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査	第6回調査	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査	第12回調査	第13回調査
対象	全国15-59男女個人											全国15-69男女個人	
サンプリング	層化二段無作為抽出												
調査方式	訪問留置方式												
抽出サンプル数(人)	4300	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2400	2400
回答数(人)	3067	1409	1406	1431	1430	1410	1410	1402	1410	1414	1414	1703	1703
回答率(%)	71.3	70.5	70.3	71.6	71.5	70.5	70.5	70.1	70.5	70.7	70.7	71.0	71.0
実施時期	97年 3月上旬	97年 9月上旬	98年 3月上旬	98年 9月上旬	99年 3月上旬	99年 10月上旬	00年 3月上旬	00年 9月上旬	01年 3月上旬	01年 9月上旬	02年 3月上旬	02年 9月上旬	03年 3月上旬

		第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査	第6回調査	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査	第12回調査	第13回調査
男性	10代	153	65	68	73	63	72	65	82	72	78	72	78	76
	20代	284	140	142	140	138	137	115	144	137	147	135	166	162
	30代	304	146	165	164	166	169	168	158	169	159	171	147	156
	40代	402	175	168	181	186	183	158	169	180	182	183	165	152
	50代	327	183	183	185	178	146	163	145	145	146	145	170	175
	60代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	128	133
女性	10代	149	53	77	49	55	70	59	73	70	73	70	68	66
	20代	363	141	124	132	144	152	137	149	146	150	149	163	161
	30代	374	156	148	150	176	157	193	158	169	158	160	158	153
	40代	374	175	174	180	157	175	164	173	171	172	180	167	154
	50代	326	172	157	177	167	149	188	151	151	149	149	165	183
	60代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	128	132

注) 図表にサンプル数が記載されていない場合には上表を参照

なお、性・年齢不明のサンプルが、1997年3月調査に11サンプル、1997年9月調査に3サンプル含まれている

### 3. 調査結果の要約

#### 1) 携帯電話

- 携帯電話(PHSを含む)を個人で利用している人の割合(個人利用率)は、15～59歳層で84.4%(60代を含めると79.2%)となった。60代女性を除いた全年齢層で半数以上が携帯電話を利用している。(図表1参照)
- この6年間で利用率は約3倍となったが、伸び幅は鈍化している。15～59歳層の加入率を半年前と比較すると、わずか2.4ポイントの増加にとどまり、携帯電話の普及率は飽和状態に近づいている。また、10代の利用率が一年前と比べて減少した。(図表2、3参照)

#### 2) 携帯電話単体でのインターネット利用

- 携帯電話単体(iモード、J-SKY、EZweb等)でのインターネット利用率は、15～59歳層で1年間に12.0ポイント増加し、47.1%に達した。男女とも40代以下では、携帯利用者の半数を超える。(図表4参照)
- 携帯電話で有料のWebコンテンツを利用する人は、15～59歳の携帯電話利用者の30.1%となり、一年前と比較すると6.8ポイントの伸びとなった。月額の利用料金は、平均437円と微増傾向にある。有料コンテンツの年間市場規模は、約1,040億円で昨年比4割増となった。(図表5参照)

#### 3) カメラ付携帯電話

- カメラ付携帯電話の保有者は、携帯電話利用者の26.1%となり、半年前から倍増している。10～20代の若年層は、カメラ付携帯電話の保有率・利用頻度とも高い。(図表6参照)

#### 4) パソコン

- パソコンが家において自分で使っている人の割合(個人利用率)は、1年間で7.3ポイント伸びて52.9%(60代を含めると44.7%)となった。特に、女性層の伸びは高く、全年齢層で利用率は伸びている。一方、男性は10代、50代で利用率が頭打ちとなっている。(図表7参照)

#### 5) パソコンでのインターネット利用

- 自宅や職場・学校を含め、パソコンでインターネットを利用している人は、15～59歳層で5割を超えた。男性は職場や学校での利用率が高く、女性は自宅のみでの利用率が高い。全体で見ると、自宅と職場・学校の両方で利用している人が、一年前と比べて減少した。(図表8参照)
- 自宅のパソコンからのインターネット利用率は、半年前とほぼ同水準の37.3%であり伸びの鈍化傾向が顕著になってきている。月間利用時間についても、ほぼ横ばいとなっている。インターネット利用時間はブロードバンド利用者が月間23.3時間、ブロードバンド利用意向者が11.0時間、ブロードバンドを利用したくない層が7.7時間となっている。半年前の24.7時間、14.0時間、8.9時間と比較するとどの層でも利用時間は減少しているが、ブロードバンド利用者が増えているため、全体としては利用時間が前回同様、高水準となった。(図表9参照)
- 自宅のパソコンでインターネットを利用する15～59歳層の49.0%がブロードバンド接続となった。利用回線ではADSLが39.9%となり、トップの座を獲得した。(図表10参照)

## 6) ユビキタス比率

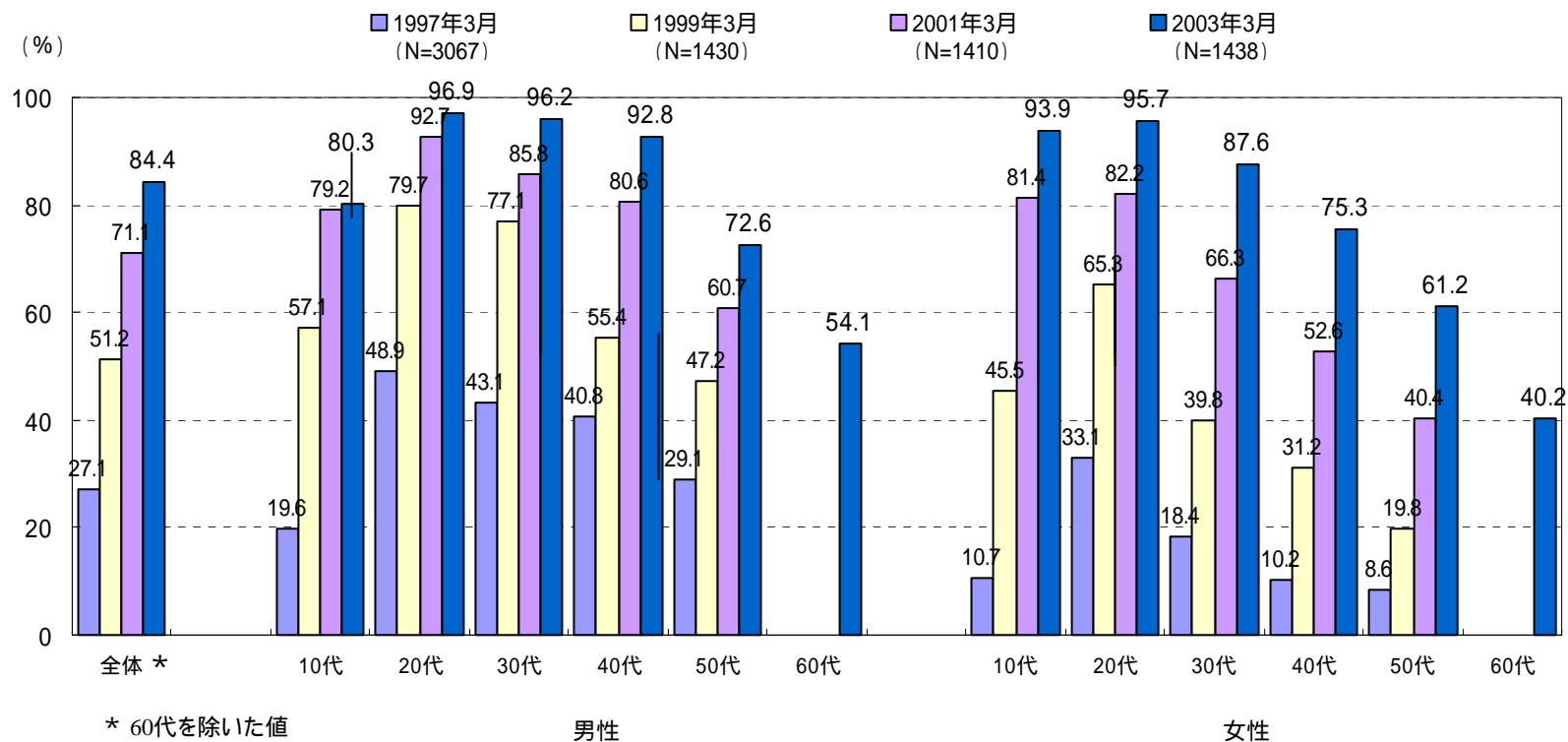
- パソコンからと携帯電話単体からのアクセスを合わせ、15～59歳層でのインターネットの個人利用率は、1年間で8.8ポイント増加し、67.4%になった。携帯からのアクセスが増えたため、パソコンのみでのインターネットの利用者比率は、引き続き減少傾向にある(図表11参照)
- 携帯電話単体と自宅のブロードバンド回線の両方で、インターネットを利用する人の割合(ユビキタス比率)は、1年間で約2倍の11.8%へと増加した。(図表12参照)

## 7) オンラインショッピング

- オンラインショッピング(EC)の利用経験率は、15～59歳層で2割(21.1%)を超えた。年間の利用金額は平均5.9万円で、一年前の同4.7万円の約1.3倍に増加している。(図表13参照)
- 年間市場規模は、15歳～59歳までの日本の人口を7,800万人とすると、約9,700億円(5.9万円×7,800万人×21.1%)と推計される。1年前の約4,700億円に比べ、約2倍に増加している。60代を含めると、利用経験率は18.6%、金額は平均6.0万円となり、年間市場規模は、15～69歳までの日本の人口を9,300万人とすると、約1兆400億円と推計され、初めて市場規模が1兆円を超えた。(図表13参照)

(図表1) 携帯電話の個人利用率は、15～59歳層で84.4% (60代を含めると79.2%)  
 この6年間で利用率は約3倍となったが、伸び幅は鈍化している  
 60代女性を除いたすべての層で、半数以上が携帯電話を利用している

【性・年代別 携帯電話個人利用率の推移】

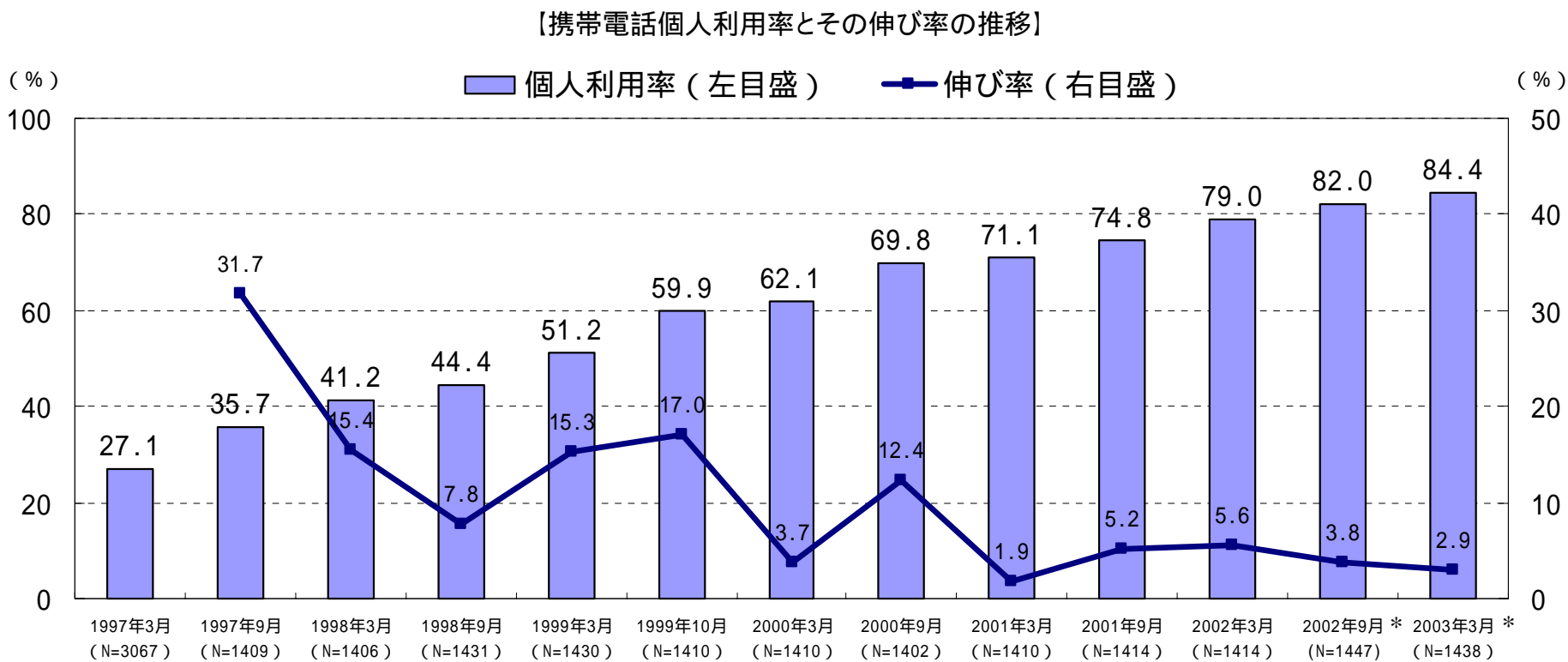


Q4. あなたは、ご自分で携帯電話(自動車電話・PHSを含む)を何台利用していますか。お勤め先から支給されたものや、プリペイド方式(通話料前払い方式)のもの、カード型のものなど、すべてを含めてお答え下さい。( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

1997年3月～2003年3月 野村総合研究所

(図表2) 対前回調査比の伸び率は鈍化しており、携帯電話の普及も上限に近づきつつある



\* 60代を除いた値

Q4. あなたは、ご自分で携帯電話(自動車電話・PHSを含む)を何台利用していますか。お勤め先から支給されたものや、プリペイド方式(通話料前払い方式)のもの、カード型のものなど、すべてを含めてお答え下さい。( はひとつ)

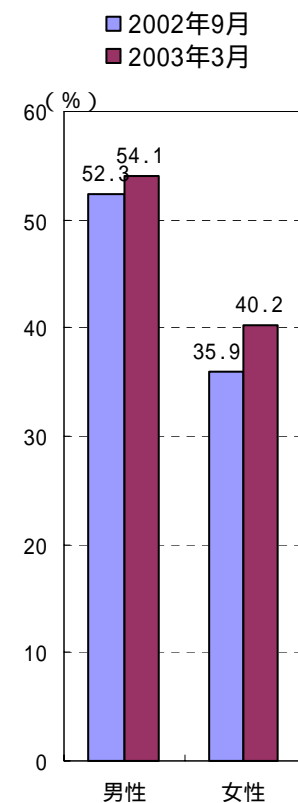
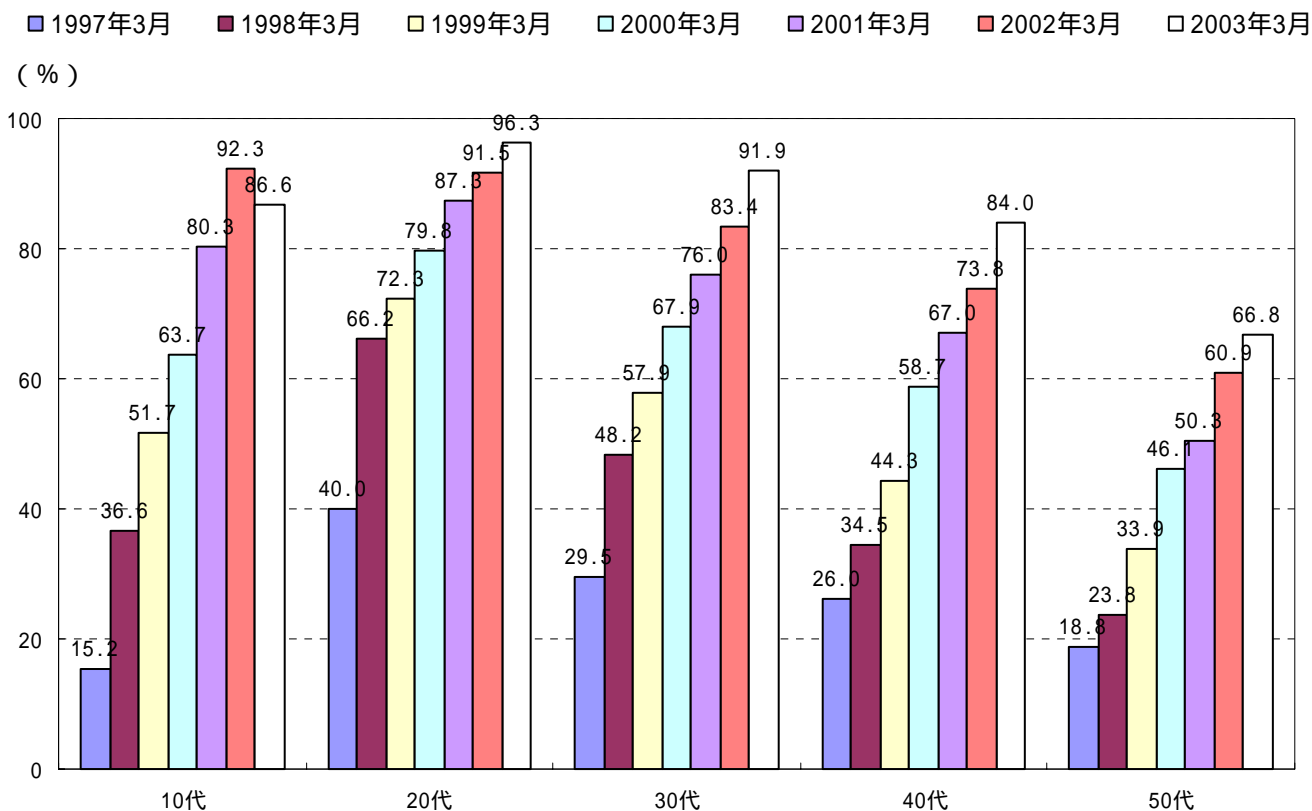
(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

1997年3月～2003年3月 野村総合研究所

(図表3) 1997年以降、2002年までほぼ一貫して携帯電話個人利用率は上昇してきたが、今回調査で10代の利用率が初めて減少  
 前回から調査対象に含めた60代の携帯電話個人利用率は半年前と比較して上昇

【年代別 携帯電話個人利用率の推移】

【60代の携帯電話個人利用率の推移】



Q4. あなたは、ご自分で携帯電話(自動車電話・PHSを含む)を何台利用していますか。お勤め先から支給されたものや、プリペイド方式(通話料前払い方式)のもの、カード型のものなど、すべてを含めてお答え下さい。( はひとつ)

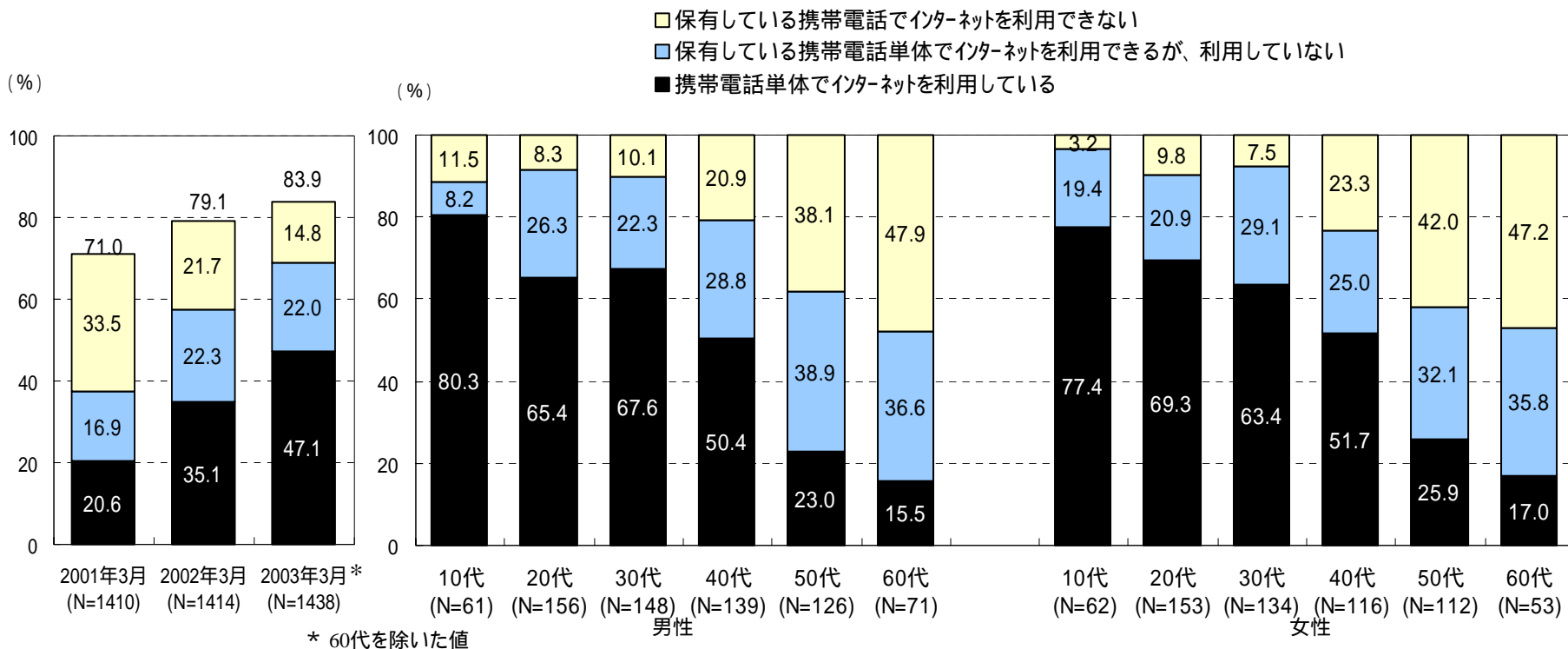
(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

1997年3月～2003年3月 野村総合研究所

(図表4) 携帯電話単体でのインターネット利用率は、15～59歳層で1年間に12.0ポイント増加し、47.1%に達した。男女とも40代以下では、携帯利用者の半数を超える  
また、インターネットを利用できる端末の普及は、69.1%に達した

【携帯電話単体での  
インターネット利用率の推移】

【性・年代別 携帯電話単体でのインターネット利用率】  
(携帯電話・PHS利用者を100%とする)



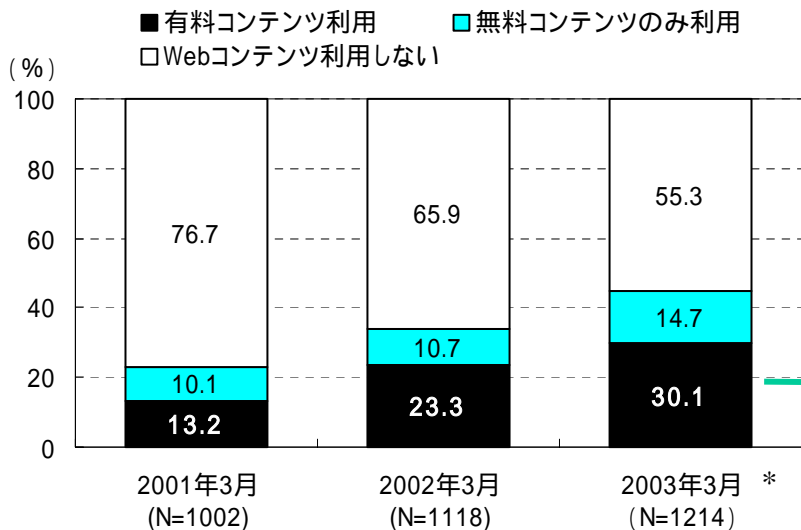
Q11.お持ちの携帯電話(自動車電話、PHSを含む)で、iモード、EZweb、J-SKYによってインターネット(電子メールやWebコンテンツの閲覧など)の機能を利用できますか。( はひとつ)  
Q11.SQ1.あなたは実際に、携帯電話でインターネットを利用していますか。( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」  
2001年3月～2003年3月 野村総合研究所

(図表5) 携帯電話で有料のWebコンテンツを利用する人は、15～59歳の携帯電話利用者の30.1%  
 月額の利用料金は、平均437円とほぼ横ばい  
 有料コンテンツの年間市場規模は、約1,040億円で昨年比4割増

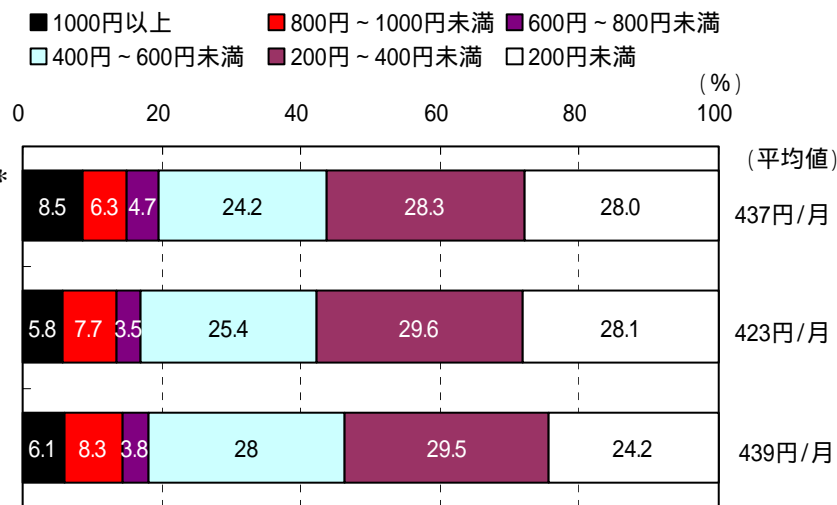
- 年間の市場規模は、15歳～59歳までの日本の人口を7,800万人として推計すると、約1,040億円(437円/月×12ヶ月×7,800万人×携帯電話個人利用率84.4%×有料コンテンツ利用率30.1%)。1年前は、約730億円であった。

【携帯電話単体でのWebコンテンツ閲覧者の推移】  
 (携帯電話利用者を100%とする)



\* 60代を除いた値

【携帯電話単体での有料コンテンツの月額利用金額の推移】  
 (有料コンテンツ利用者を100%とする)



注) 無回答を除く

Q11.SQ5.携帯電話を利用して、どのくらいの頻度でWebコンテンツを閲覧(情報検索など)されていますか。( はひとつ)

Q11.SQ7.あなたは、有料のWebコンテンツをいくつ利用されていますか。利用されているサービスの数でお答えください。( はひとつ)

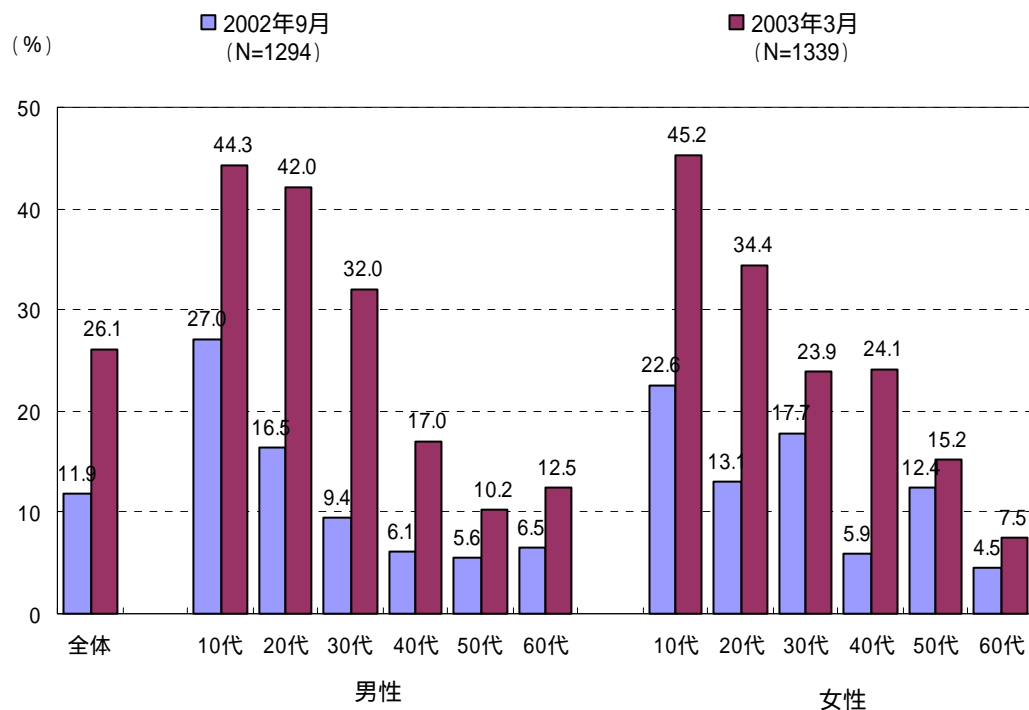
Q11.SQ8.有料のWebコンテンツを利用されている方に、お伺いします。1ヶ月あたりいくくらい、コンテンツに支払っていますか。( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

2001年3月～2003年3月 野村総合研究所

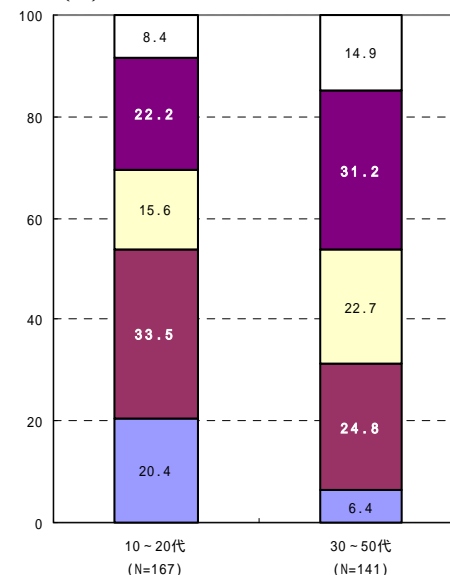
(図表6) カメラ付携帯電話の保有者は、携帯電話利用者の26.1%となり、半年前から倍増している  
10～20代の若年層は、カメラ付携帯電話の保有率・カメラ利用頻度とも高い

【性・年代別 カメラ付携帯電話の保有状況】  
(携帯電話利用者を100%とする)



【年代別 カメラ付携帯電話のカメラ利用状況】  
(カメラ付携帯電話利用者を100%とする)

■ 日に1回以上      ■ 週に2回以上  
□ 週1回程度      ■ 月に1～2回程度  
□ 月に1回以下

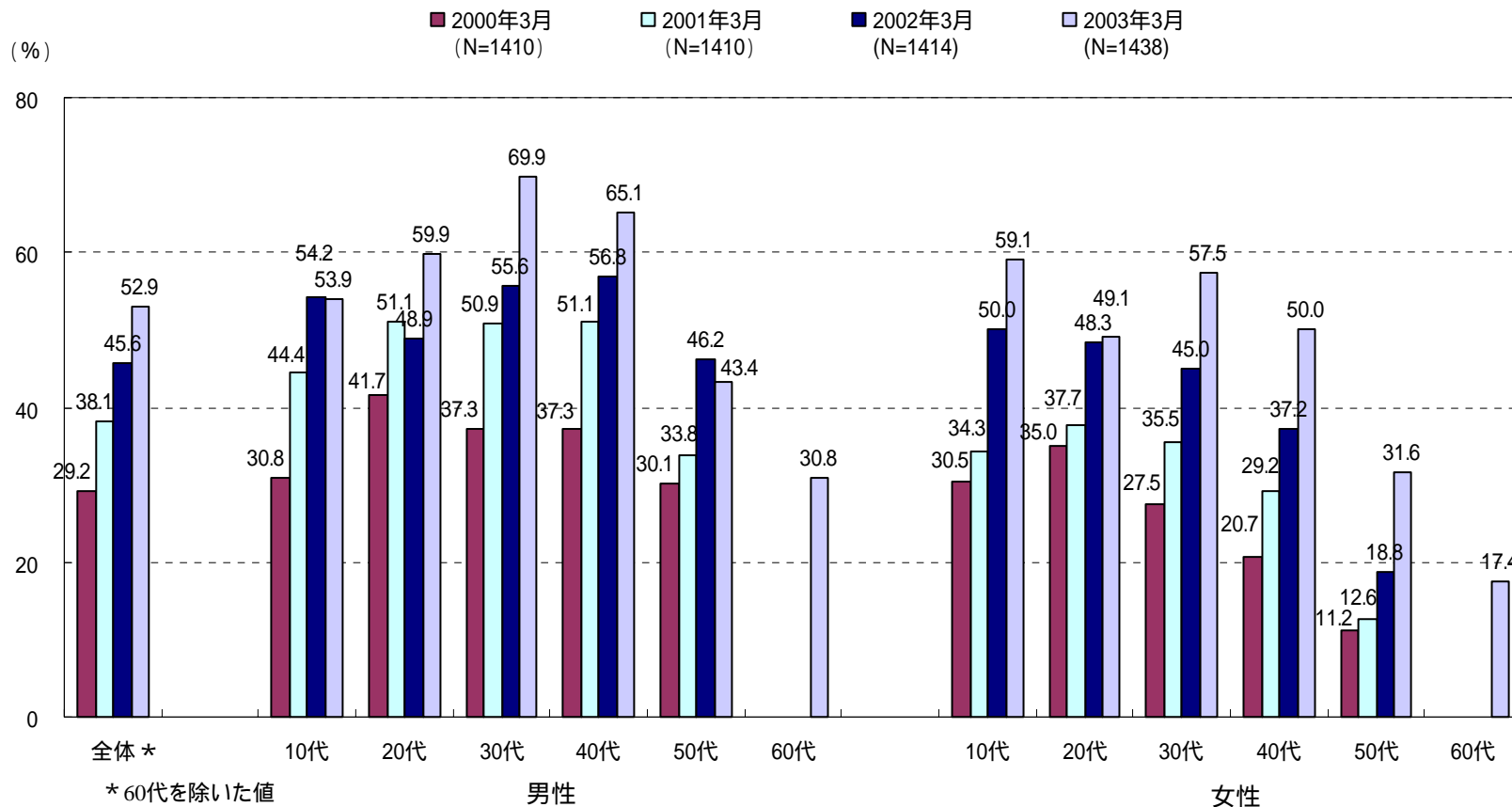


Q12.あなたの携帯電話(PHSを含む)は、カメラ付きですか。何台かある場合は、あなたが一番よく使うものについて、お知らせください。( はひとつ)  
Q12.SQ1.どのくらいの頻度でカメラを使っていますか。( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」  
2002年9月～2003年3月 野村総合研究所

(図表7) 15～59歳層の自宅におけるパソコンの個人利用率は、この1年で7.3ポイント伸びて52.9%(60代を含めると44.7%)  
 女性は全年齢層で利用率が伸びているが、男性では10代、50代で利用率が頭打ち

【性・年代別 自宅におけるパソコンの個人利用率の推移】



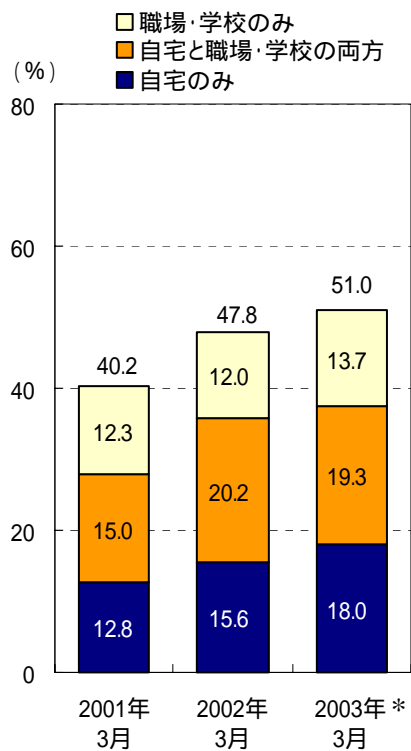
Q17.あなたご自身は、家でパソコンを使っていますか。複数お使いの場合は、一番よく使うものについてお知らせください。  
 ( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」  
 2001年3月～2003年3月 野村総合研究所

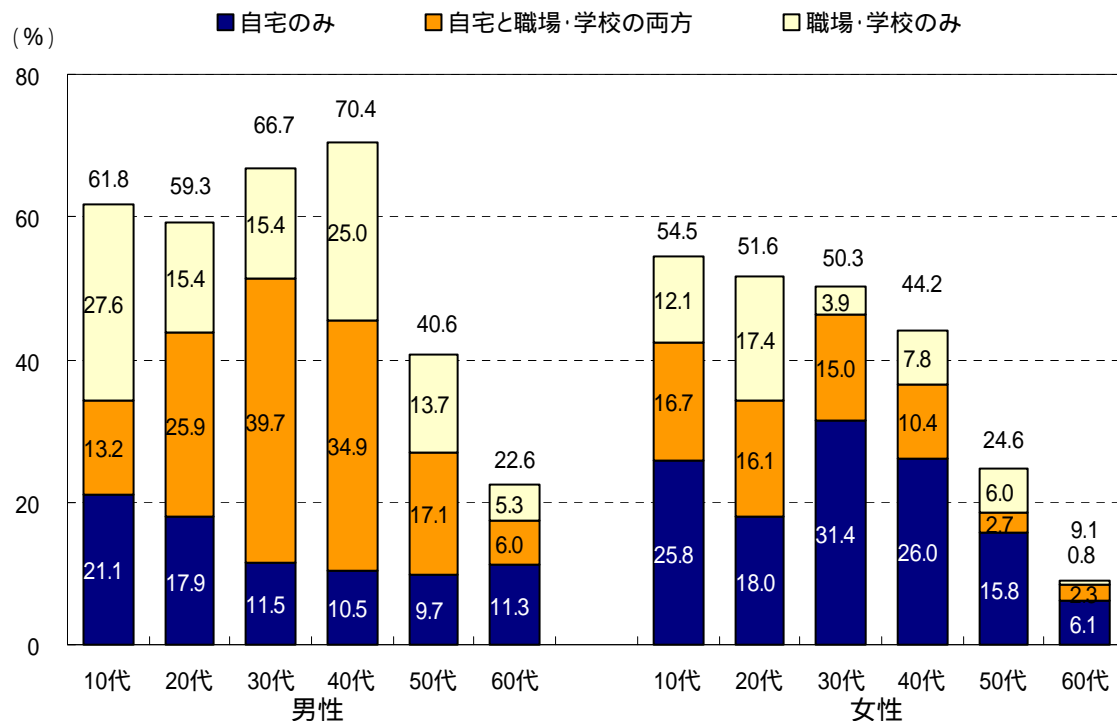
(図表8) 自宅や職場・学校を含め、パソコンでインターネットを利用している人は、5割を超えた全体でみると、自宅と職場・学校の両方で利用している人が一年前と比べて減少した男性は職場や学校での利用率が高く、女性は自宅のみでの利用率が高い

【パソコンでインターネットを利用している人の割合の推移】

【性・年代別 パソコンでインターネットを利用している人の割合】



\* 60代を除いた値



Q21. あなたご自身は、家でパソコンをインターネットに接続して利用していますか。( はひとつ)

Q30. あなたは、職場・学校で、パソコンをインターネットに接続して利用していますか。( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

2001年3月～2003年3月 野村総合研究所

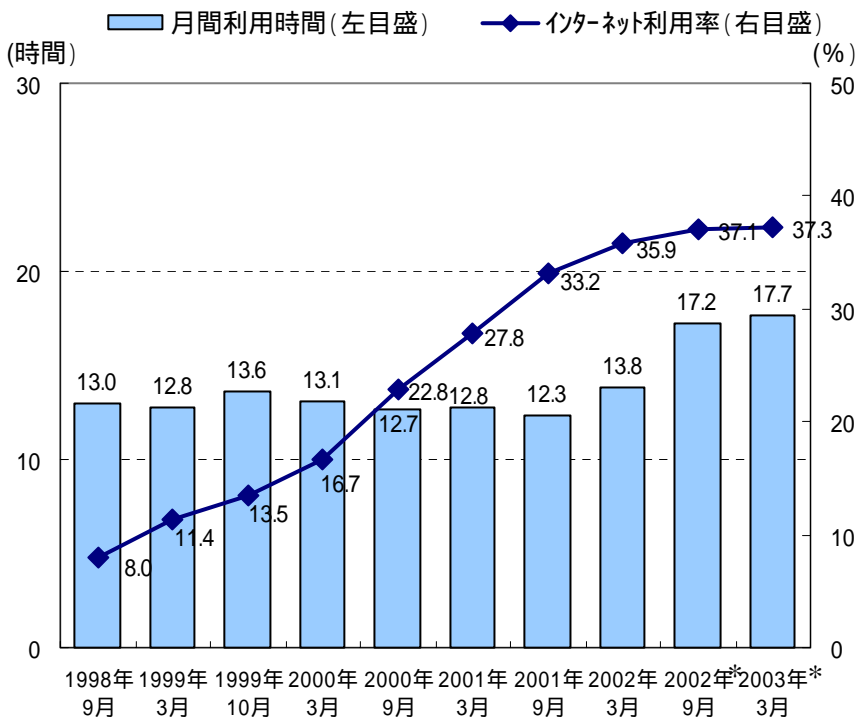
(図表9) 自宅のパソコンからのインターネット利用率は、半年前とほぼ同水準の37.3%となった  
月間利用時間は17.7時間/月となり、半年前より若干増加

- インターネット利用時間はブロードバンド利用者が月間23.3時間、ブロードバンド利用意向者が11.0時間、ブロードバンドを利用したくない層が7.7時間となっている。半年前の24.7時間、14.0時間、8.9時間と比較すると、どの層でも利用時間は減少しているが、ブロードバンド利用者が増えているため、全体としては利用時間が半年前よりも増加。

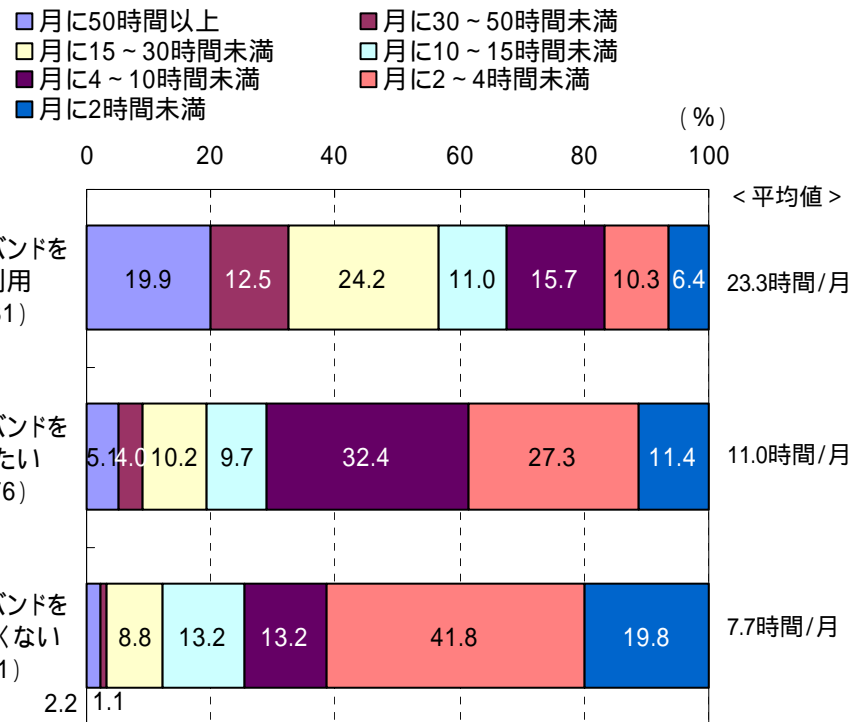
【自宅におけるパソコンからのインターネット利用率と月間利用時間の推移】

(利用時間は自宅でのインターネット利用者についての集計値)

【ブロードバンド利用状況別 インターネット利用時間】  
(自宅でのインターネット利用者を100%とする)



\* 60代を除いた値



注) 不明を除いて集計

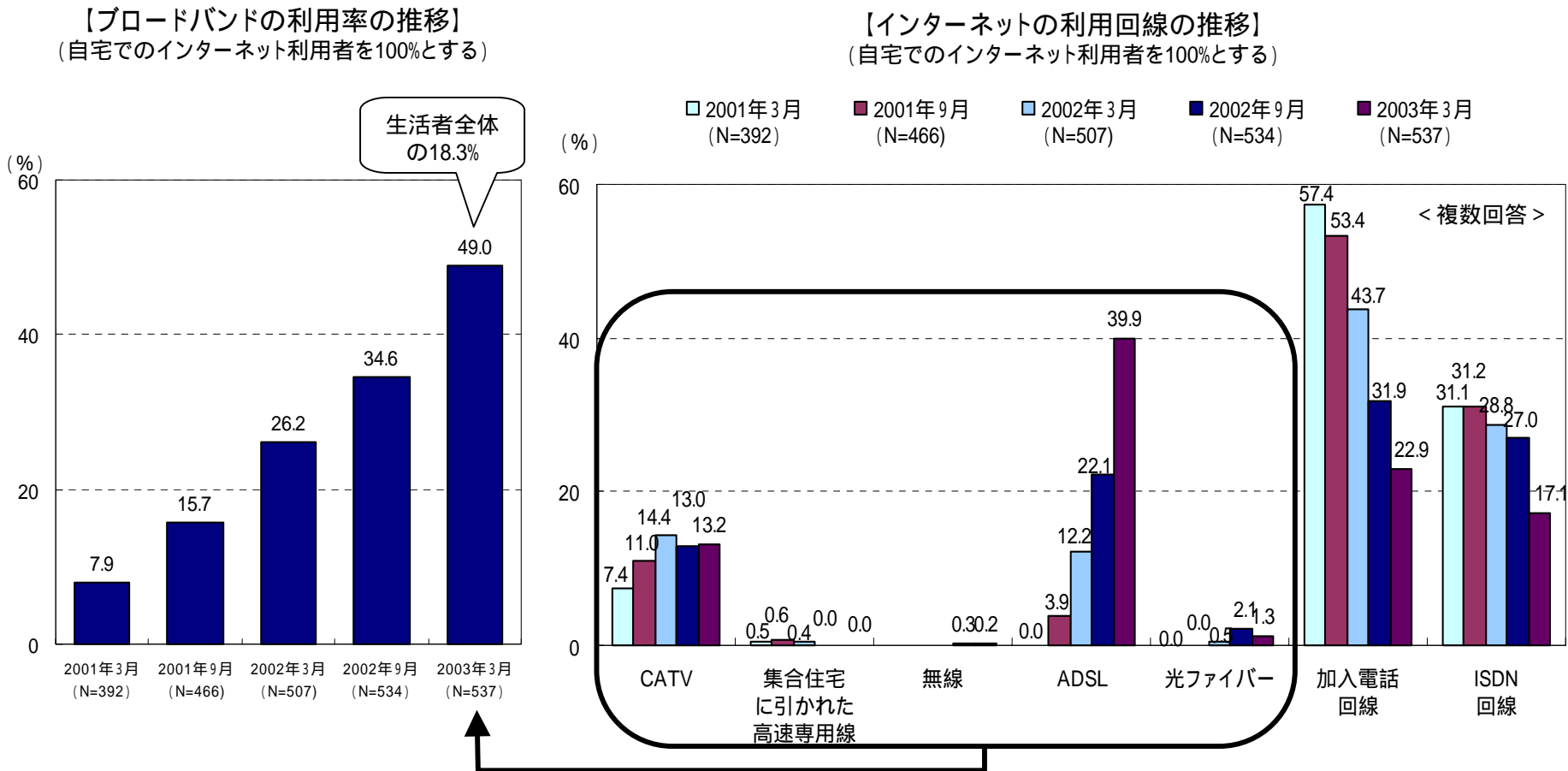
Q21.あなたご自身は、家でパソコンをインターネットに接続して利用していますか。( はひとつ)

Q22.あなたが、家でパソコンをインターネットに接続して利用する時間は、月に何時間ぐらいですか。( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

1998年9月～2003年3月 野村総合研究所

(図表10) 自宅のパソコンでインターネットを利用する15～59歳層の49.0%が、ブロードバンドを利用  
利用回線として、ADSLが39.9%となり、トップの座を獲得



Q23.あなたが、家でインターネット接続時にご利用になる通信回線は、次のどれですか。複数ある場合には、あてはまるものすべてに をつけ、その内最もよく利用する回線一つに をおつけください。( はいくつでも、 はひとつ)。さらに、ADSLおよび光ファイバーをご利用の場合は、具体的なサービス名をお知らせください。(それぞれ該当する場合には はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

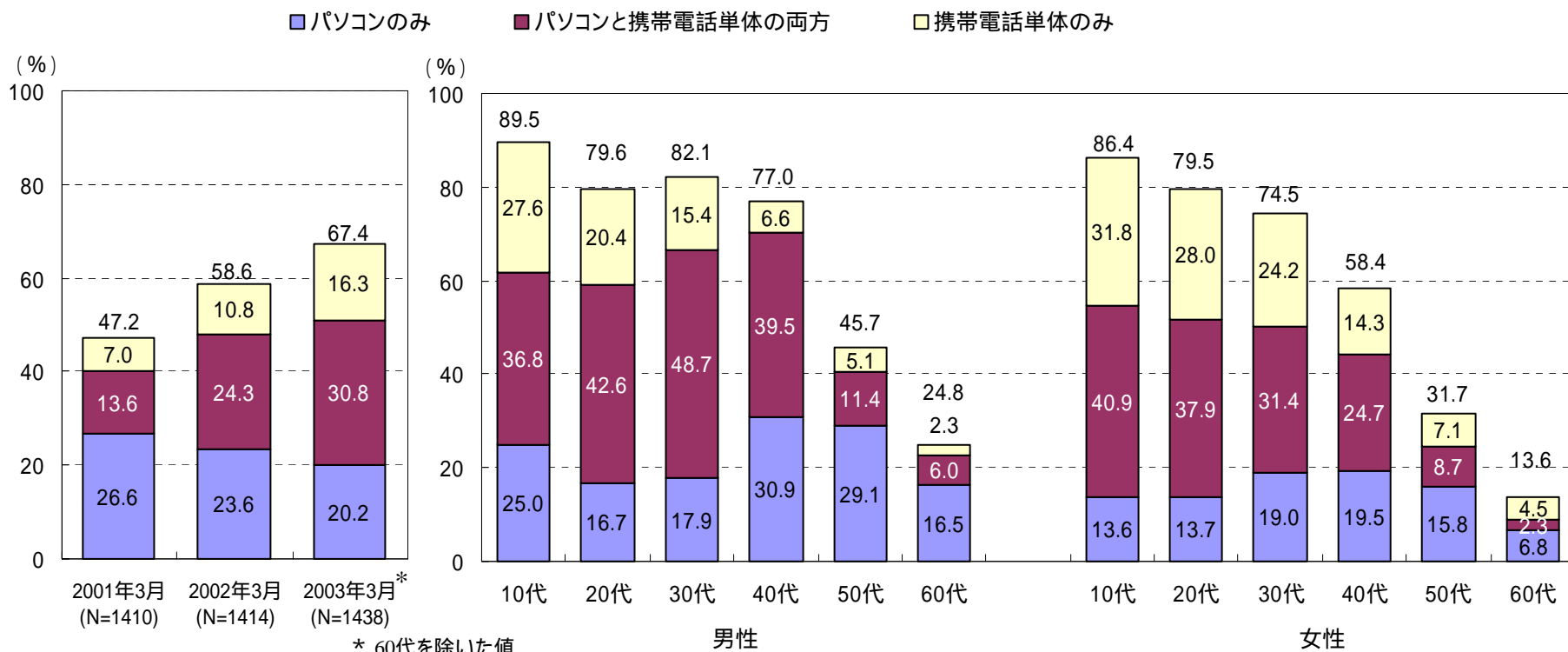
2001年3月～2003年3月 野村総合研究所

(図表11) パソコンからと携帯電話単体からのアクセスを合わせ、15～59歳層でのインターネットの個人利用率は、1年間で8.8ポイント増加し、67.4%になった  
 パソコンと携帯電話単体の両方を利用する層が30.8%となり、最も多い利用形態にパソコンのみでのインターネット利用者比率は、引き続き減少傾向にある

- いずれの年代層でも、女性は男性に比べ「携帯電話単体のみ」の比率が高い。
- 15～69歳までの、インターネットの個人利用率は、59.9%となる。

【インターネット利用率と利用手段の推移】

【性・年代別 インターネット利用率と利用手段】



Q11.SQ1. あなたは実際に、携帯電話でインターネットを利用していますか。( はひとつ)  
 Q21. あなたご自身は、家でパソコンをインターネットに接続して利用していますか。( はひとつ)  
 Q30. あなたは、職場・学校で、パソコンをインターネットに接続して利用していますか。( はひとつ)

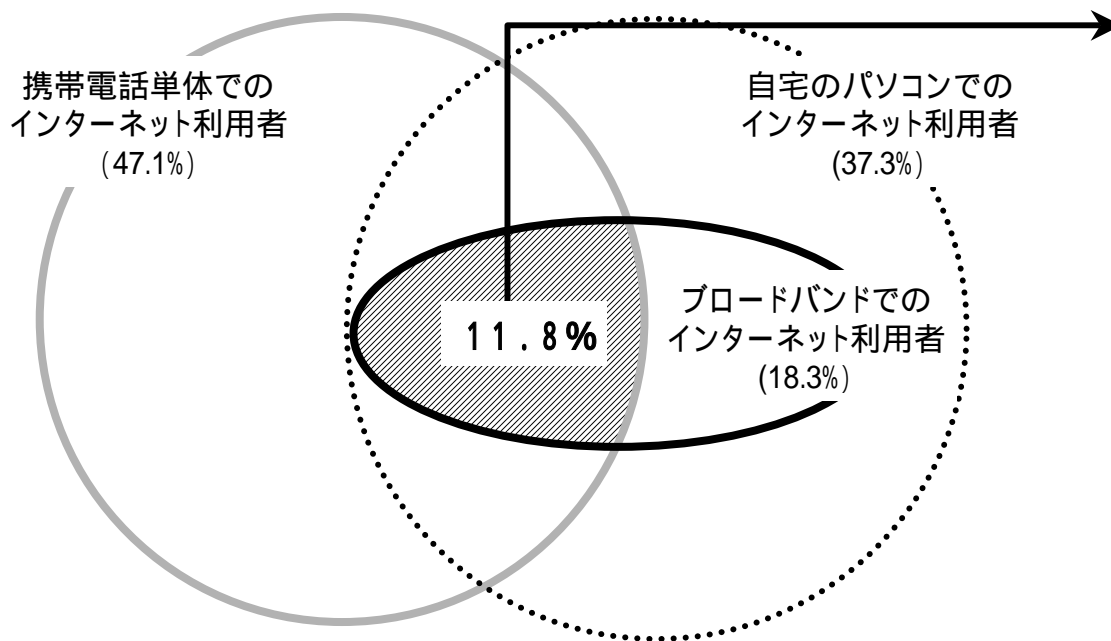
(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

2001年3月～2003年3月 野村総合研究所

(図表12) 携帯電話単体と自宅のブロードバンド回線の両方で、インターネットを利用する人の割合(ユビキタス比率)は、1年間で約2倍の11.8%へ

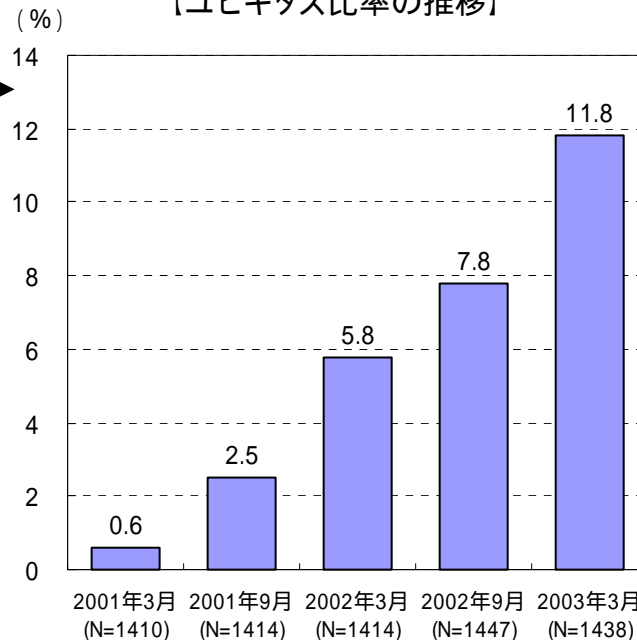
- 携帯電話によるインターネット利用者の増加と、自宅でのブロードバンド利用者(特にADSL)の増加が両輪となって、ユビキタス比率も伸びた。
- 60代の層を含めると、ユビキタス比率は10.2%となる。

【携帯電話及びブロードバンドによるインターネット利用者の重なり】



注1) 数字はいずれも生活者全体に占める比率(60代を除いた値)

【ユビキタス比率の推移】



注2) 携帯電話(モバイル)と自宅のブロードバンドの両方でインターネットを利用する人の生活者全体に対する割合を「ユビキタス比率」と呼ぶ。

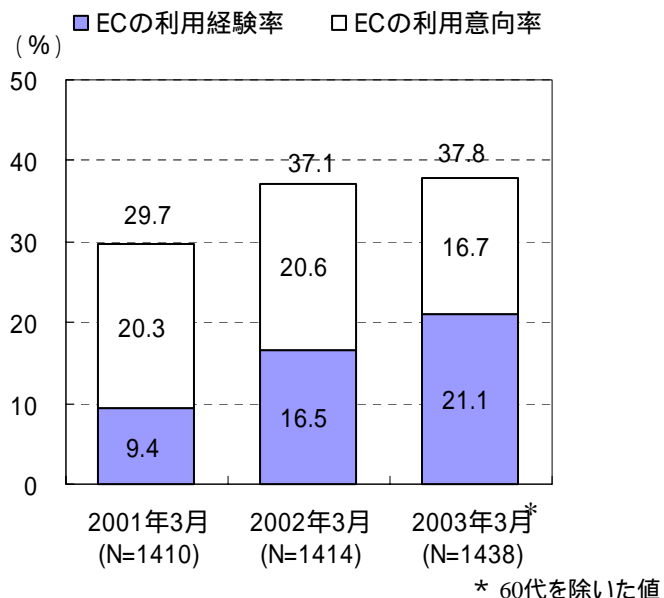
Q11.SQ1.あなたは実際に、携帯電話でインターネットを利用していますか。( はひとつ)  
 Q21. あなたご自身は、家でパソコンをインターネットに接続して利用していますか。( はひとつ)  
 Q24.インターネットを利用する際に、ブロードバンド回線(ADSL、CATVインターネット、光ファイバー、高速専用線など)をご利用になっていますか、また、利用したいとお考えですか。( はひとつ)

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」  
 2001年3月～2003年3月 野村総合研究所

### (図表13) オンラインショッピング(EC)の利用経験率は、15～59歳層で2割以上(21.1%)に達した 年間市場規模は、1兆円を突破したと推計される

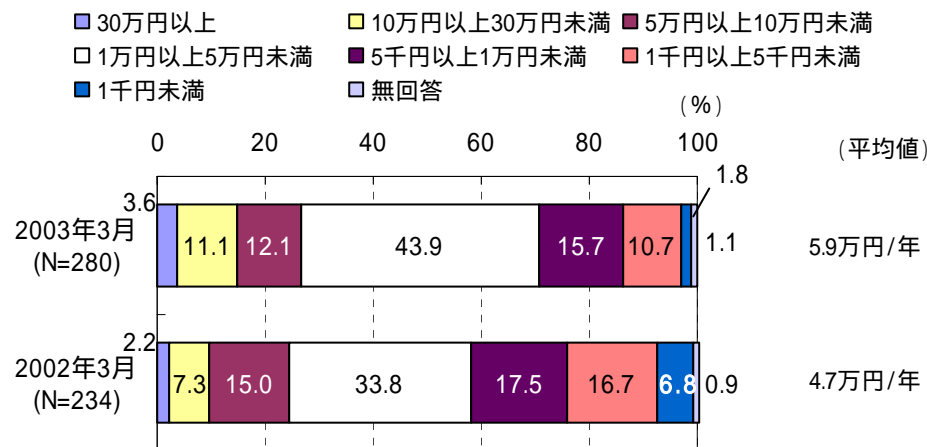
- 年間市場規模は、15～59歳までの日本の人口を7,800万人とすると、約9,700億円(5.9万円×7,800万人×21.1%)と推計される。一年前の約6,000億円に比べ、約1.6倍に増加している。
- 60代を含めると、利用経験率は18.6%、金額は平均6.0万円となり、年間市場規模は、15～69歳までの日本の人口を9,300万人とすると、約1兆400億円と推計される。

【オンラインショッピング(EC)の利用経験率・意向率の推移】



注1) オンラインショッピング(EC)の利用は、自宅からだけでなく、職場や学校等からの利用を含む。

【過去1年間にECで買い物をした金額の推移】  
(ECの利用経験のある人を100%とする)



注2) 平均値の計算には、無回答を除く。

Q40. パソコン、携帯電話、店内のインターネット端末(キオスク端末等)などからインターネットを使って、買い物をしたり予約等のサービスを利用したりできます。あなたはこのようなオンラインショッピング(電子商取引/エレクトロニック・コマース)についてどの程度ご存知ですか。(はひとつ)

Q40.SQ4. あなたは、オンラインショッピングで、過去1年間にどのくらい商品やサービスを購入・予約しましたか。

おおよその合計金額をお答えください。(はひとつ)

当レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。

Copyright ©2003 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

(資料)「情報機器やサービスの利用に関するアンケート」

2000年9月～2002年9月 野村総合研究所